

取扱説明

- 取扱説明をよくお読みの上正しくご使用ください。そのあと保存し必要なときにお読みください。
- この商品は自転車専用手押しポンプタンクゲージ付(仏式バルブ専用)です。他の目的には使用しないでください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意

- 空気を入れる時は、必ず平らな場所に入れる



ポンプを傾けて使用すると転倒してけがの原因となります。

- ポンピングの時、握りを一番下まで押し下げポンプ内の空気をすべて出し切る



出し切らないと握りが飛び出しけがの原因となります。

- 子供など取扱に不慣れた方だけで使わせたり乳幼児の手の届くところで使わない



けがの原因となります。

- 使用時に各部の状態を点検し、握りやステップの変形や破損、またはシリンダーキャップ、ホース本体取付部にゆるみがある場合はしっかりとしめる

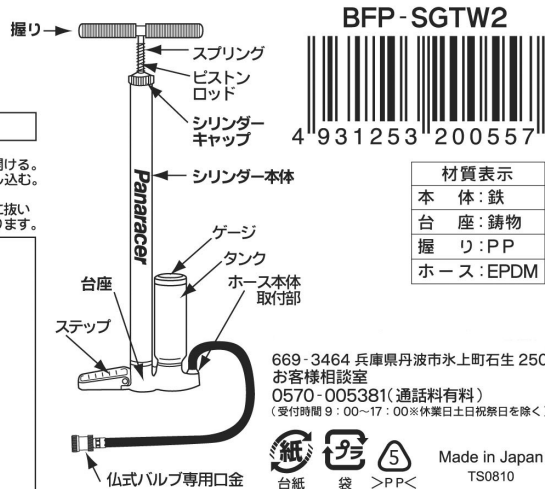
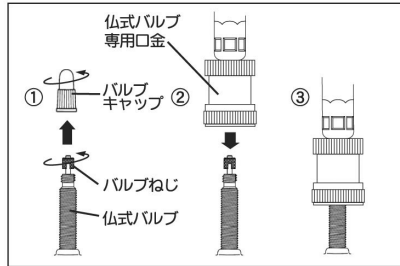


そのまま使用するとポンプが破損し、けがの原因となります。
※安全のため絶対に、握り、シリンダーキャップ、ホース本体取付部は補修部品の交換以外ではゆるめないでください。

- 空気圧は、タイヤ側面に刻印されている「標準空気圧(推奨空気圧)」に従ってください。
※このポンプの加圧上限は、1100kPa(約11kgf/cm²)です。それ以上は加圧しないでください。
- ポンピング時に強く押ししても握りが下がらない場合は、破裂の危険があるため直ちに使用を中止し、「お客様相談室(ナビダイヤル0570-005381)」にご連絡ください。
- ポンピングが重くなったり音がするような場合は、シリンダーキャップ上部のピストンロッドが上下する穴部分のすきまに、機械油またはサラダ油を数滴注油ください。
※この際シリンダーキャップは絶対にゆるめないでください。
- 保管は、雨や直射日光の当たる場所には置かないで、必ず屋内の冷暗所で行ってください。

正しい使いかた

- ①最初に、仏式バルブのバルブキャップをゆるめて外す。その後、バルブねじをゆるめ、ねじの頭を軽く押しして弁を開ける。
 - ②仏式バルブ専用口金を仏式バルブに上からまっすぐに差し込む。
 - ③仏式バルブ専用口金を奥までしっかりと差し込む。
- ※抜く際は、まっすぐ上に抜いてください。斜に倒したりむりに抜いたりすると、仏式バルブのバルブネジが破損する場合があります。



669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生 250
お客様相談室
0570-005381(通話料有料)
(受付時間 9:00~17:00※休業日土日祝祭日を除く)



Made in Japan
TS0810